

令和2年度学校自己評価システムシート (県立大宮南高等学校)

目指す学校像	文武に秀で、主体的に学び、社会に貢献する生徒を育成する学校
--------	-------------------------------

重点目標	1 主体的な学びを育み、学力を向上させ、第一希望の進路実現を推進する。 2 特別活動と部活動を充実させ、社会貢献の資質を育てる。 3 安心・安全で開かれた学校づくり。
------	---

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価							
年 度 目 標					年 度 評 価 (月 日 現 在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	【現状】 校種別の進路実績には従来から大きな変動はないが、4大志願者に推薦入試を指向する割合が高まっている。 【課題】 進路に向けた学習方法や受験までの学習計画について充分自己分析できていないまま取り組んでいる生徒が散見される	第一希望の進路を実現させる	①大学入試制度の変化に対応した進路指導計画の策定 ②個に応じた的確な情報提供と継続的な支援の実施 ③段階に応じたきめ細かい進路指導の実施(3年:受験に向けた雰囲気づくり、1,2年:次年度科目選択指導)	①大学入試制度の変化に対応した計画を策定できたか ②生徒が主体的に進路研究に取り組んだか ③段階に応じた進路指導が実施できたか			
	【現状】 家庭学習時間に二極化の傾向が見られるなど、全体的な底上げが必要 【課題】 近年、公募推薦やAO入試を複数回挑戦したり、一般受験で相当数の大学を受験する生徒がみられることもあり、あらゆる入試に対しても学力の向上が必須	学習の基礎となる授業の質の向上と家庭学習時間の増加	①学力定着のために授業時数増を推進するとともに、年間計画に基づいた授業の確実な実施 ②主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業を通じた学力向上の実践 ③課題や予習、朝学習推奨等による家庭学習時間の向上	①年間授業時数を増加させるとともに、年間計画に基づいた授業を実施したか ②指導の工夫により、あらゆる受験形態に対応できる学力を育成できたか ③生徒の学習時間は増加したか			
2	【現状】 高い部活動加入率と熱心な活動を通じて、自律した学校生活を送る生徒が多い 【課題】 部活動未加入者や、進路決定後の生徒等に対する指導や支援の機会の拡大	社会貢献の資質育成につながる指導の確立	①顧問と学年等の連携による部活動加入促進と、個に応じた活動の支援 ②生徒の主体的な参画による生徒会行事の実施 ③基本的な生活習慣確立に向けた指導の実施	①生徒が積極的に部活動に参加できたか ②実施後の生徒の満足度は高いものであったか ③遅刻者は減少したか			
3	【現状】 SNS等を通じた生徒間トラブルや登下校中の交通マナーについて指導を行う状況が発生している 【課題】 自転車の安全運転及び登下校の交通マナー、ネットモラルについては、特に指導徹底が必要	生徒間トラブル及び交通事故防止の徹底	①情報モラルや交通安全に係る指導の実施 ②生徒指導や学校安全に係る教職員研修の実施 ③教職員間の連携によるいじめ未然防止の徹底	①生徒トラブル及び交通事故件数は減少したか ②研修の実施により事案が生じた際に迅速に対応できたか ③いじめゼロを継続できたか			
	【現状】 7割の生徒がさいたま市在住であり、地域に根ざした学校と位置付けられている 【課題】 保護者への情報提供手段としての県公式アプリ登録が8割弱に留まっている	保護者の県公式アプリ登録割合を向上させる	①学校ホームページの積極的な活用による様々な教育活動の紹介 ②中学生のニーズに対応した生徒募集活動の工夫 ③県公式アプリ登録促進の取組	①効果的な情報発信ができたか ②生徒募集活動において新たな工夫ができたか ③県公式アプリの登録割合は向上したか			

学 校 関 係 者 評 価			
実施日	令和	年	月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等			